

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子2回戦】 B球場(松山中央公園南) 第1試合 鳴門教大附属中学校(徳島県) VS 御調中学校(広島県)

御調中 投打に圧倒!!

鳴門教育大附属中 最後まで明るいベンチ!



＜鳴門附属中 4回表、1死2、3塁から近藤が左前へタイムリーヒット＞



＜御調中 3回裏、左越えにソロホームランを放ち、ナインに迎えられる宮本＞

平成26年8月20日(水)

8:57 ~ 10:13

球審:大沢

一塁:佐賀

二塁:佐々木仁

三塁:佐々木

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳴門教大附属中学校(徳島県)	0	0	0	2	0					2
御調中学校(広島県)	3	5	3	0	X					11

【バッテリー】

＜先攻＞(鳴) ●高島 宏司朗, 笠井 俊史郎 - 立石 雄祐大

＜後攻＞(御) ○宮本 海斗, 芦田 竜之介 - 藤原 綜俊

【長打】

＜本塁打＞ 宮本 海斗(御)

＜三塁打＞ 藤原 綜俊(御), 宮本 海斗2(御), 須賀 愛斗(御), 山下 恭弘(御)

＜二塁打＞

【戦評】

御調中が投打に鳴門教育大附属中を圧倒した。御調中は初回、1死1塁から3番宮本がレフトへの三塁打で1塁ランナーが生還し、先制。続く4番芦田もきっちりとライトへ犠牲フライを打ち上げ2点目。さらに高島のワイルドピッチで3点目を挙げた。その後も宮本のソロホームランなど、攻撃の手を緩めることなく、5回コールドで鳴門教育大附属中を退けた。先発・宮本は昨日に引き続き、スピード、コントロールが抜群。4回は芦田にマウンドを譲ったが、準決勝に向けて万全のピッチングだった。鳴門教育大附属中は、先発高島の乱調が誤算だった。

【勝者インタビュー】

監督談

勝因は各バッターが繋ぐバッティングで点を取ることができたこと。また、バッテリーを中心によく守ってくれたことが試合の決め手になった。この試合に勝つとメダルをもらうことができるので、20人で心を一つに頑張った。次も勝って決勝に行く。昨年のリベンジをしたい。

主将談

ストライクとボールをしっかり見極めてバッティングをすることができた。初回を抑え、逆に点をとることができたのが大きかった。次の準決勝も気を抜かず、全力で戦っていきたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!